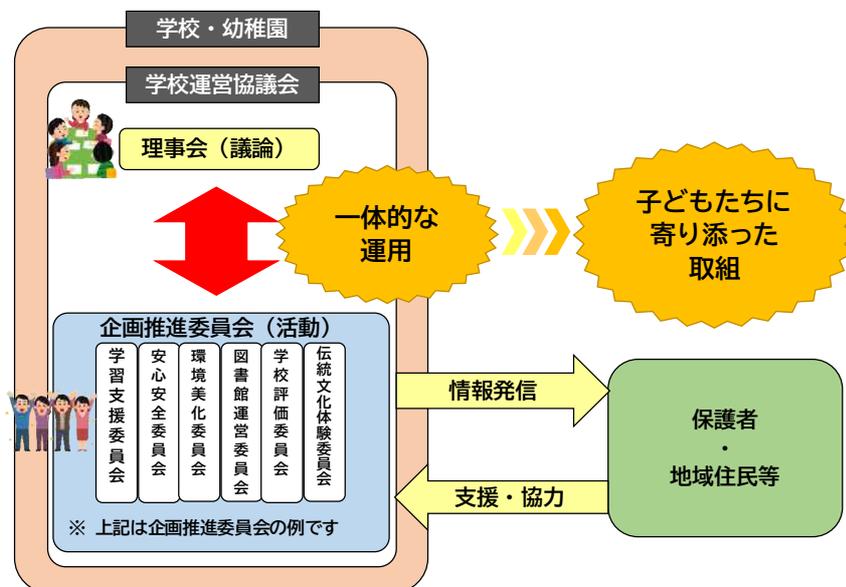


## 地域みんなで子どもたちの学びと育ちを支えましょう

現在、人口減少、グローバル化の進展、技術革新、そして近年のコロナ禍等により、社会は大きく、急速に変化し、将来の予測が困難な時代と言われています。子どもたちには、このような変化に積極的に向き合い、他者と協働してよりよい未来の創り手となるための資質・能力を育むことが求められています。

そのためには、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を、学校と地域や保護者の方々が共有し、連携・協働しながら子どもたちの成長を支えていくことが何よりも重要です。学校運営協議会は、その推進に大きな役割を担うとともに、子どもたちの豊かな学びと育ちを通じて、地域コミュニティの活性化も目指しています。

本紙は、それぞれの学校運営協議会での実践事例を紹介しています。今後の活動の参考としていただければ幸いです。



## 山階小学校、大原小中学校が文部科学大臣表彰を受賞

### 山階学校運営協議会 「あいあい山階」

ここが評価されました！



「なかよし菜園」での収穫

「であい・ふれあい・ささえあい」を合言葉に、地域・保護者・学校が一体となって子どもたちを豊かに育むため、生活科や総合的な学習の時間等での学習支援、読み聞かせ・書架整理、「なかよし菜園」での栽培活動、文化・スポーツ活動、登下校の見守り・交通安全教室など、学校運営協議会が軸となり多岐にわたる活動を展開しています。子どもたちは、地域の大人に見守られ支えられることで、地域の一員として愛され大切にされていることを実感するとともに、地域に親しみを持ち、感謝する心が育っています。

### 京都大原学院学校運営協議会

ここが評価されました！



しば漬け作り体験

「地域と共に」「地域のために」という理念のもと、学校と学校運営協議会が連携した小中9年間の「地域に貢献するキャリア教育」カリキュラムにおいて、地元寺院での伝統行事体験、しば漬け作り、農園活動と朝市での販売、河川の水質・生物調査、オオムラサキの保護活動など、地域の自然・施設・産業・人々を活かした特色ある活動を実践しています。そして、毎年9年生はこれらの活動の集大成として、地域課題解決に向けた「大原提言」を行っており、活動を通して子どもたちは地域との確かなつながりを実感し、地域社会貢献への意識が芽生えています。

# 地域ぐるみの実践の輪が広がっています

## 【桂坂小学校】協働活動の「ねらい」を学校と地域全体で共有！

桂坂小学校では、これまでから地域の各種団体等が主体となり、子どもたちのための協働活動が多く実施されてきましたが、それぞれの活動のねらいや内容の共有、活動の広がりには課題がありました。そこで、広く学校・家庭・地域が連携・協働した取組となるよう、それらの活動を学校運営協議会の「企画推進委員会」として組織し直しました。



企画推進委員会立ち上げの様子



上：地域の方による読み聞かせ  
下：Zoomで地域の方と話し合い

企画推進委員会には教職員も参加し、地域の方々との議論の中で、「様々な人とのつながりを大切にできるように、家庭・地域でも一緒に子どもたちを見ていきたい」等の地域の願いと、学校が掲げる「自分も相手も大切にし、進んでかかわることができる」等の育てたい子ども像とのつながりや、子どもたちが地域に学び、地域から学ぶことの大切さを再確認しました。そして、教科指導の中で学校が進める学びと、地域の方々と共に進める体験活動等が、同じ「ねらい」のもとに結びつき、「社会に開かれた教育課程」の実現に向かうことを共通理解しました。

今後は、企画推進委員やボランティアの募集、PTA活動とのタイアップや地域講師の人材バンク設置など、企画推進委員会が学校と地域の連携・協働に向けた情報発信も担えるよう、取組を進めていきます。

## 【向島秀蓮小中学校】学校の「困り」を共有して解決へ！

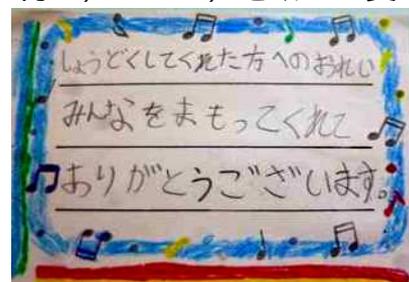
向島秀蓮小中学校の学校運営協議会は、令和元年度の開校以降、理事会及び4つの専門部会での活動をはじめ、「学校ボランティア人材バンク」を活用し地域の方々からゲストティーチャーとして学習支援を実践するなど、学校が真に地域と共にあり、学校と地域が一体となって活動を進めています。



コロナ禍において、当初、教職員だけで行われていた消毒作業。学校の負担は非常に大きく、日常の教育活動への影響も少なくはありません。この学校の「困り」に対して、理事会が地域の自治会等に協力を依頼し、地域の方々による消毒作業を実施しています。子どもたちの安心安全に加え、教職員が子どもたちと関わる時間を確保できる取組として、さらに、地域の方々から学校に足を運んでいただく機会として、意義ある取組になっています。この取組を通じて、子どもたちは地域の方々から支えていただいていることに気付くとともに、感謝の気持ちが育ち、さらに、地域への愛着を持つことにもつながっています。



学校の「課題」や「困り」を共有し、解決のために一体となって取り組む。学校と地域が協働して子どもたちを育てることを具現化する役割を、学校運営協議会が担い、取り組んでいます。



# 実践事例の発表動画を公開！

活動の参考に  
ぜひ御覧ください

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度のコミュニティ・スクールに関する研修会は、デジタルコンテンツを活用し、実践事例の発表動画を配信することとしました。

## 【美豆小学校】

### 地域全体で子どもたちの育ちを支えるために

目指す子ども像を共有し、理事会・企画推進委員会が主体的に地域と連携しながら協働活動（地域の産業〔米作り〕の学習支援、学校運営協議会だよりによる地域向け広報等）を実践されている事例



地域の方々と稲刈り体験



地域の大人みんなが  
学校を花いっぱい

## 【神川中学校】

### 地域学校協働活動の推進

#### ～ 子どもを真ん中にした「つながり」で地域の未来を創る ～

理事会で子どもたち・学校・地域に関する課題について議論し、課題解決につながる企画推進委員会を設置したうえで、当事者意識を持って協働活動（学習支援や環境美化活動）を実践されている事例



高等部生徒が地域の子どもたちに  
農園体験の機会を提供

## 【東総合支援学校】

### 社会に開かれた教育課程の実現と学校運営協議会の役割について

子どもたちが地域の方々とのつながりの中で学ぶことにより、本人の自立を図り地域に貢献できる存在になることを目指し、理事会での議論のもと企画推進委員会と連携した協働活動（地域交流や自立支援等）を教育課程に位置づけ、持続的に実践されている事例

美豆小	神川中	東総合支援
〔 本動画は、本市の学校運営協議会の理事・企画推進委員向け研修資料であるため、 限定配信としています。 〕		

## 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三鷹(令和3年11月6日)で発表！！

### 西総合支援学校



平成17年、全国初の特別支援学校における学校運営協議会として設置されて以来、ローカルコミュニティ（学校が立地する地域や通学する児童生徒の居住地）とテーマコミュニティ（障害のある人たちが住みやすい街づくりを目指す人々のつどい）が一体となり、子どもたちが「できる自分」を知ることができるよう、進路・地域連携・学校評価等、様々な観点で学校運営を支援しています。

この度、様々な行事や協働活動が中止となっているコロナ禍での工夫などを含め、その取組について全国大会で発表されました。

研究大会での発表動画  
理事全員が手話で参加した  
校歌の動画も入っています！



全国コミュニティ・スクール連絡協議会による  
アーカイブ動画

# 学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会

本市では、学識経験者や保護者、市民公募委員などの外部委員が第三者的な視点で検証する「学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会」を平成19年度から設置しています。

検証委員会では、本市の学校運営協議会や学校評価の充実のため、その取組を検証されるとともに、さらには、実際の学校現場を訪問・見学のうえ、よりよい教育実践に向けて助言いただくなど、取組の改善につなげています。（令和3年度訪問校：室町小学校、八条中学校）

## 検証委員会での主な意見

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う一斉休校等を経て、学校は子どもの学びだけでなく、安心・安全の場として福祉的機能も果たしていることが広く社会に認識された。学校の機能が膨張し続けていることに十分留意しながら、学校・保護者・地域・関係機関等が相互の立場や状況を理解・尊重し、社会全体で子どもを育てるために対話を重ね協働する役割を、学校運営協議会が果たすべき。
- 持続可能な学校運営協議会を実現するための一つの鍵は、多様な世代が学校運営協議会に関わり活躍できるかどうかにある。例えば、会議の時間を全て一律に設定するのではなく、会議等の目的を明確にし、その時々での議論の中心となるべき方々が参画しやすい日時を柔軟に設定するなど、様々な関係者が発言の機会を得られるよう、運営に工夫が必要。
- 学校・保護者・地域の関係性の中に、子どもたちをどう位置付けるか。単に「大人」「子ども」と二元的に分離させてしまうのではなく、例えば、地域をフィールドにした生徒会活動と学校運営協議会の活動が互いに連携するなど、大人と子どもが調和を図りながら取組を進めていく視点を大切にしてほしい。



## 【国の動き】 コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議

平成16年度から学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）が導入され、全国で学校運営協議会の設置が進む中、さらに学校運営協議会や協働活動の充実を図るため、現在、国において、今後の在り方等について議論が重ねられています。

（参考・会議情報が掲載されている文部科学省 HP）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/163/index.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/163/index.html)



京都市教育委員会事務局 生涯学習部 学校地域協働推進担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549

電話：075-251-0456 FAX：075-251-0449

URL：<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000038884.html>



京都市  
CITY OF KYOTO

掲載している写真は、令和3年度またはそれ以前のもので、  
本文や図には見やすいユニバーサルフォントを採用しています。